

パーソナルコンピュータのメールソフトを使って 電子メールを安全に読み書きする方法

— Microsoft® Outlook® Express* —

松原義継[†]

1 はじめに

学外からメールを読み書きする方法として、本センターでは Web ブラウザを用いた「ウェブメーラー [1]」を 2001 年よりサービスしている。これは、Web ブラウザさえあれば どこからでもメールの読み書きができる利点がある。

その一方で、ユーザからは、自分が普段使っているメーラーで学外からいつも通りにメールを送受信したいとの要望も出ている。これは、出張でノートパソコンを持ち出している時や自宅でパソコンを使っている時でも、いつも通りにメールを読み書きしたいという内容である。

これと併せて、ネットワーク上に流れるパケットを盗聴することで個人情報が盗まれる可能性があり、より安全にメールを送受信することが求められている。

そこで、本センターでは そのためのシステムを実験運用中であり、近日中に公開する予定である。それに先立ち、Windows® 2000, Windows® XP 等の米 Microsoft® 社 [2] 製の OS に ほぼ標準で搭載されているメーラーである“ Outlook®Express ”における、その設定方法を紹介する。

なお、ここで紹介するサーバ名等の設定は実験運用での設定であるので、公開時の実際の設定は本センターに問い合わせること。新規に環境設定を行う場合は 2 章、既存の環境下で設定を行う場合は 3 章を参照頂きたい。

2 新規設定手順

メールを読むためには、暗号通信プロトコルである SSL 付きの imap である imaps を用いる。メールボックスの格納場所はユーザのホームディレクトリ上のディレクトリ '~ /Mail' である。

メールを送るためには、SMTP AUTH[3] による認証付きメール送信機能を用いる。さらに、安全性向上のために SSL 付きのメール配送規約である smtps[4] も用いる。

まずは、図 1 のように、メニューの [ツール (T)] から [アカウント (A)] を選択する。



図 1: [アカウント (A)] の選択

図 2 のように、「インターネット アカウント」というウィンドウが表示されたら、その中にあるタブ [メール] をクリックする。

*Windows, Microsoft および Outlook は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

[†]E-mail: matubara@cc.saga-u.ac.jp

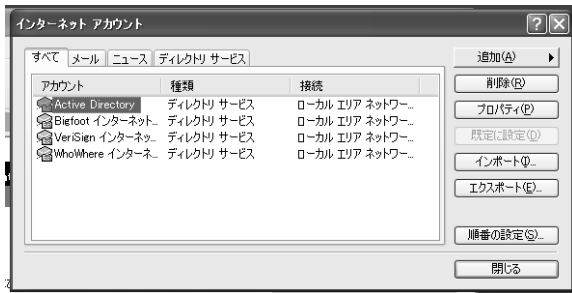


図 2: 「インターネット アカウント」の表示

すると、図 3 のようになる。



図 3: [メール] タブの表示

図 4 のように、右上にある [追加 (A)] をクリックして、その右に表示されたメニューから [メール (M)...] を選択する。



図 4: [メール (M)...] の選択

すると、図 5 のように「インターネット接続ウィザード」というウィンドウが表示される。

名前を入力を要求されているので、自分の名前を入力して、ボタン [次へ (N)>] をクリックする (図 6)。

すると、図 7 のように、メールアドレスの入力が要求される。



図 5: 「インターネット接続ウィザード」の表示



図 6: 自分の名前を入力

そこで、自分のメールアドレスの入力を入力して、ボタン [次へ (N)>] をクリックする (図 8)。

すると、図 9 のように、メールサーバ名の入力が要求される。

図 10 のように、[メールサーバの種類 (S)] の右にあるプルダウンメニューをクリックして、表示される 3 種類の方法から 'IMAP' を選択する。

すると、図 11 のようになる。

このウィンドウ下にある 2 箇所のフォームに、それぞれ受信メールサーバ名及び送信メールサーバ名を入力する (図 12)。この時、入力する内容は以下の通りである。

[受信メール (POP3, IMAP または HTTP) サーバー (I)] のフォームには、'mails.cc.saga-u.ac.jp'。

[送信メール (SMTP) サーバー (O)] のフォームに



図 7: メールアドレスの入力の表示

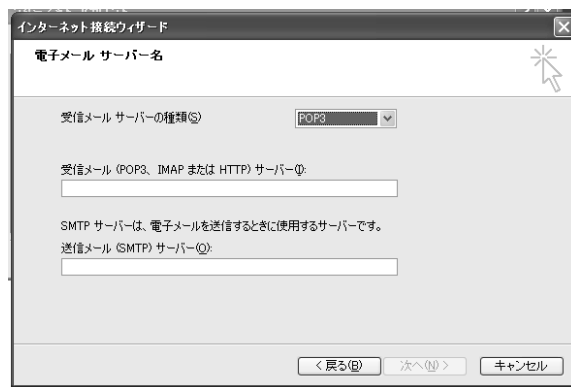


図 9: メールサーバ名の入力の表示



図 8: 自分のメールアドレスの入力

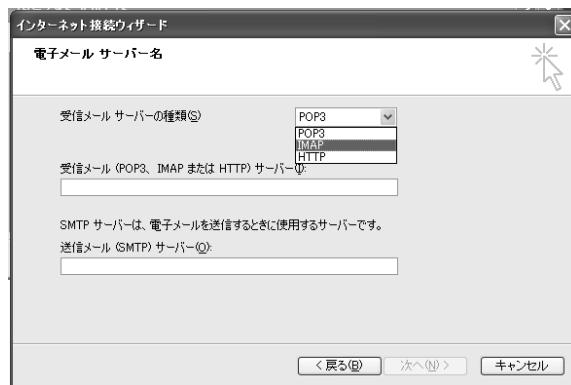


図 10: メールサーバの種類の選択

は、'smtps.cc.saga-u.ac.jp'。

入力したら、ボタン [次へ (N)>] をクリックする。

すると、図 13 のように、認証のためのアカウント名及びパスワードの入力が要求される。

ここで入力するアカウント名及びパスワードは本センターにおける認証用のそれらである。

[アカウント名 (A)] の右のフォームには、本センターにおける自分のユーザ ID (ユーザ名)。

[パスワード (P)] の右のフォームには、本センターにおける自分のパスワード。

図 14 のように、入力したらボタン [次へ (N)>] をクリックする。

すると、図 15 のように「設定完了」が表示されるので、ボタン [完了] をクリックする。

すると、ウィンドウが閉じて、図 16 のように「インターネット アカウント」ウィンドウに戻る。この時点で「アカウント」が mails.cc.saga-u.ac.jp、「種類」が「メール」となっている 1 行が表示されている。複数のメール環境を持っている場合は、「種類」が「メール (既定)」となることもある。この時は、自分が主に利用するメール環境のアカウント名をクリックして、ボタン [既定に設定 (D)] をクリックする。

次に、ウィンドウ内の右にあるボタン [プロパティ (P)] をクリックする (図 17)。

すると、図 18 のように「プロパティ」ウィンドウが表示される。

そのウィンドウ内のタブ [サーバー] をクリックすると、図 19 のようになる。

このウィンドウ内の下に チェック [このサーバーは認証が必要 (V)] があるので、それをクリックする (図 20)。



図 11: 'IMAP' 選択後の表示

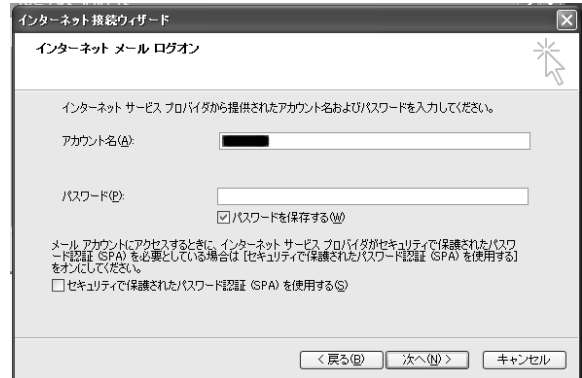


図 13: アカウント名及びパスワードの入力の表示

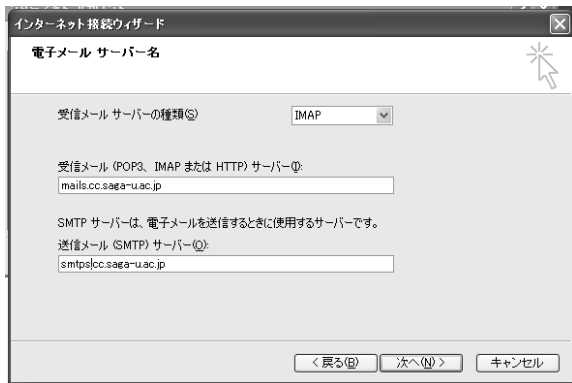


図 12: メールサーバ名の入力

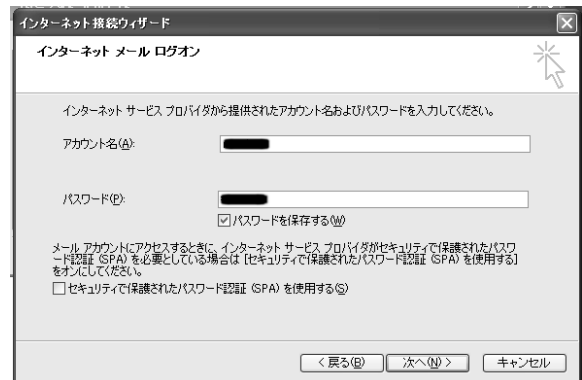


図 14: アカウント名及びパスワードの入力の表示

そのチェックの右にボタン [設定 (E)] があるので、それをクリックする (図 21)。

すると、図 22 のように「送信メール サーバー」ウィンドウが表示される。



図 15: 「設定完了」の表示

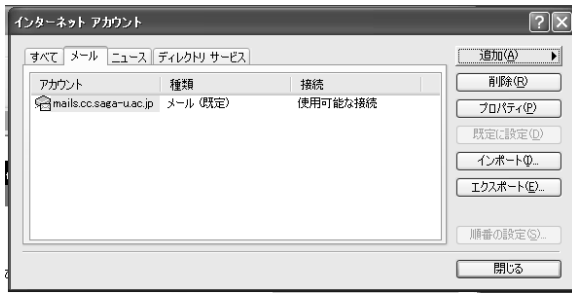


図 16: 「インターネット アカウント」ウィンドウの表示

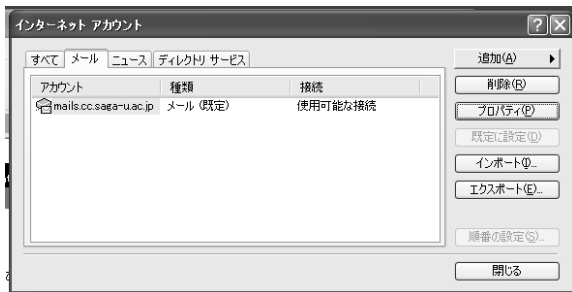


図 17: 「インターネット アカウント」ウィンドウの表示

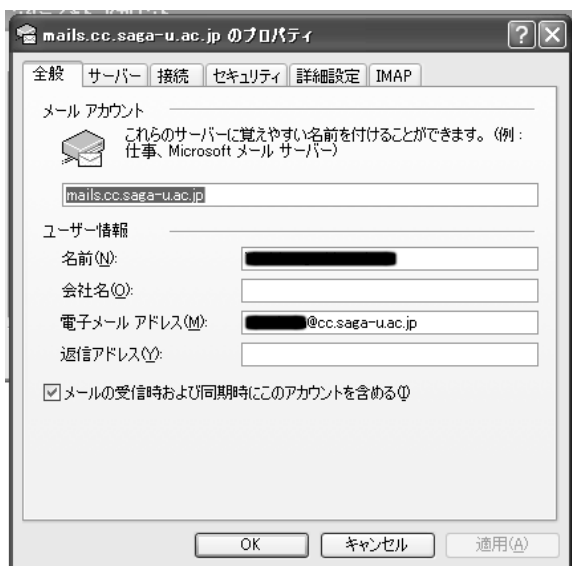


図 18: 「プロパティ」ウィンドウの表示



図 19: タブ「サーバー」のクリック後

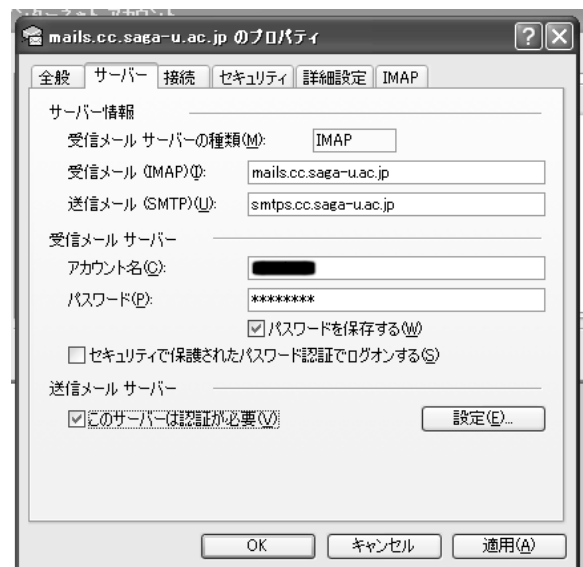


図 20: [このサーバーは認証が必要 (V)] のクリック後



図 21: [設定 (E)] のクリック前



図 22: 「送信メール サーバー」ウィンドウの表示

本センターでは、受信用ユーザーアカウント名及びパスワードと送信用のそれらは全く同じである。従って、チェック [受信メール サーバと同じ設定使用する (U)] にチェックを入れる。チェックしたら、ボタン [OK] をクリックする (図 23)。

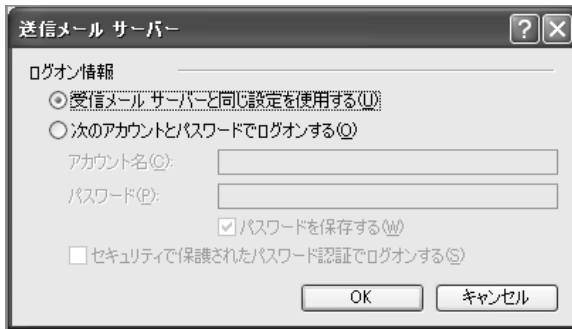


図 23: [受信メール サーバと同じ設定使用する (U)] のチェック後

すると、ウィンドウが閉じて、図 24 のように「プロパティ」ウィンドウに戻る。

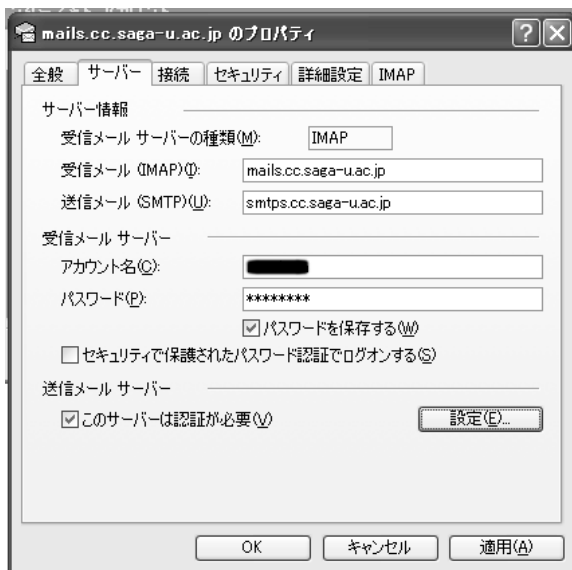


図 24: ウィンドウが閉じた後

次に「プロパティ」ウィンドウ内のタブ「詳細設定」をクリックする。すると、図 25 のようになる。

このタブ内にある [送信メール (SMTP)(O)] の下にあるチェック [このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 (Q)] をクリックする。すると、[送



図 25: 「詳細設定」の表示

信メール (SMTP)(O)] の右のフォーム内のポート番号 (数字) 25 から 465 に自動的に変更される。

その下に、今度は [受信メール (IMAP)(I)] の下にあるチェック [このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 (C)] をクリックする。すると、[受信メール (IMAP)(I)] の右のフォーム内のポート番号 (数字) 143 から 993 に自動的に変更される。

次に、同じウィンドウ内のタブ「IMAP」をクリックする。すると、図 28 のようになる。

図 29 のように、このタブ内にある [ルートフォルダのパス (F)] の右のフォームに '~/Mail' を入力する。入力したら、ボタン [OK] をクリックする。

すると、ウィンドウが閉じて、図 30 のように「インターネット アカウント」ウィンドウに戻る。

そのウィンドウの右下にあるボタン [閉じる] をクリックする。すると、ウィンドウが閉じて、図 31 のようなウィンドウが表示され、メールの受信開始を尋ねられる。

ここでボタン [はい (Y)] をクリックすると受信が始まる。この際、証明書の内容に関するダイアログが表示されることがあるが、その時は、ボタン [はい (Y)] をクリックする。

メールサーバからメールが受信されて、設定は完了である。後は、いつもどおりにメールの送受信ができる。

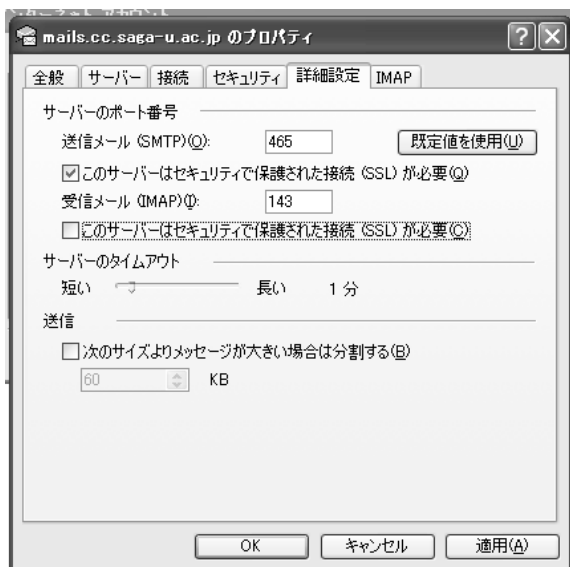


図 26: SSL による送信の選択後

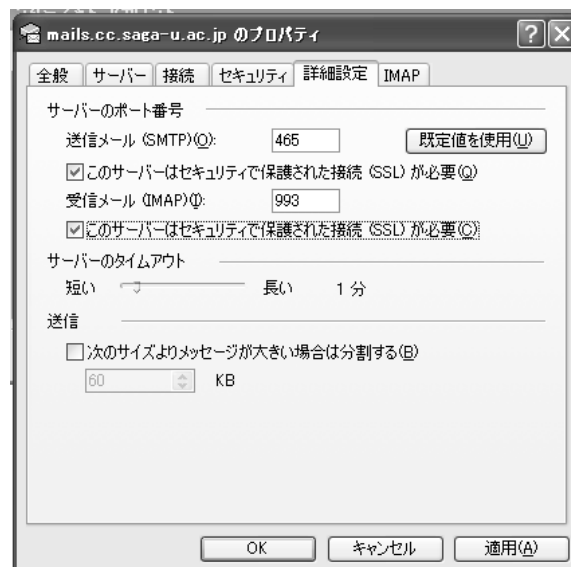


図 27: SSL による受信の選択後

3 既存環境への設定追加手順

既に Outlook® Express を利用している場合は、既存の環境に設定をいくつか変更することで対応できる。はじめに、図 20 のように送信メールサーバ及び受信メールサーバ名を変更して、チェック [このサーバは認証が必要 (V)] をクリックする。次に、図 27 のように送信メール及び受信メールの [セキュリティで保護された接続] をクリックして、これらのポート番号を変更する。

4 おわりに

今回、学外からメールを読み書きする設定を紹介した。2006 年のゴールデンウィーク明け頃に公開を予定しているので、センターからのアナウンスをご確認頂きたい。

参考文献

- [1] <http://webmailer.cc.saga-u.ac.jp>
- [2] <http://www.microsoft.com>
- [3] J. Myers, SMTP Service Extension for Authentication, RFC2554, March, 1999.

- [4] P. Hoffman, SMTP Service Extension for Secure SMTP over Transport Layer Security, RFC3207, February, 2002.

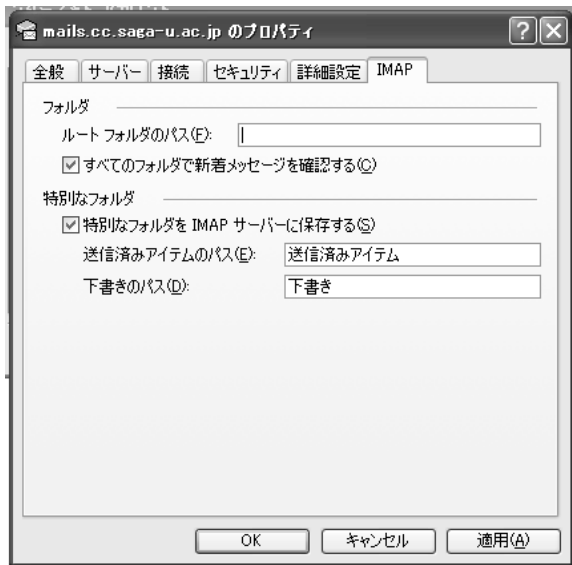


図 28: タブ「IMAP」の表示

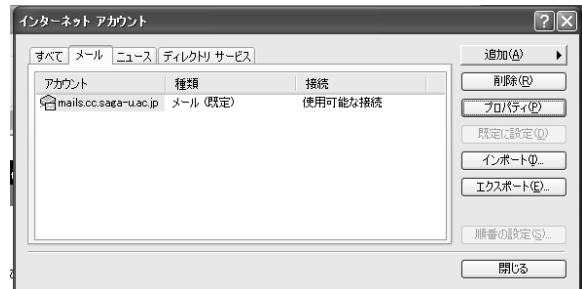


図 30: 「インターネット アカウント」ウィンドウの表示

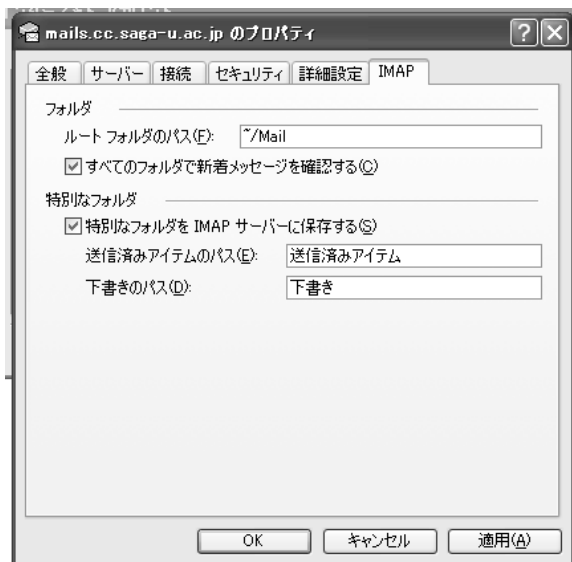


図 29: ルートフォルダのパスの入力

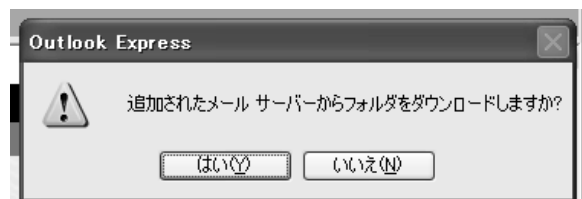


図 31: メールの受信開始の問い合わせ